

平成 29 年度事業計画

円福寺愛育園

1. 社会福祉制度の改革

急速な少子高齢化、地域社会の変容等に伴い、福祉ニーズの太陽化、複雑化していく中、福祉サービスの主たる担い手である社会福祉法人が果たす役割はますます重要になっている。社会福祉法人が備える公益性や非営利性に見合う経営組織や財務規律を実現し、国民に対する説明責任を果たすとともに、地域社会に貢献するという社会福祉法人の本来の役割を果たすため法人の在り方を見直す必要性から、平成 28 年 3 月 31 日社会福祉法等の一部を改正する法律が可決、交付された。

改正の趣旨は、社会福祉法人の「経営ガバナンスの強化」として、理事等の権限、責任等に関する規程を整備し、議決機関としての評議員会の設置を義務付けるとともに、一定規模以上の社会福祉法人に対して会計監査人による監査を義務付ける。「事業運営の透明性の向上」では、定款、計算書類等を公表しなければならないものとする。さらに、「財務規律の強化」では、理事等の関係者に対する特別の利益供与の禁止、役員報酬基準の作成及び公表を行うとともに、内部留保の明確化、社会福祉事業への計画的な再投資の義務付けを行う。「地域における公益的な取り組みを実施する責務」として、社会福祉法人はその事業を行うにあたり、日常生活及び社会生活上の支援を必要とする者に対し、無料または低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するよう努めることとしている。

当法人としても、今回の社会福祉法の主要な改正が今年度から施行されるにあたり、今、社会福祉法人が問われているのは、社会福祉法人の在り方、法人経営の質であると受け止め、法人経営に努めていく。

2. 事業運営方針

1. 円福寺愛育園の児童養育の目的

当園の児童養育の目的を次のように定めます。

園児に自立の力をつけて卒園させる

児童養護施設に入所した児童の自立の時期は、高校卒業の時です。高校を卒業して社会に出ると、一人で生きていかなければなりません。だから愛育園にいる間に、家庭で育った子より格段に立派な心に育てなければなりません。ここに、児童養護施設で働く職員の使命があります。

この使命をどれだけ深く自覚するか、その厳しさをどれだけ深く自覚するかに職員の姿勢がかかっています。

- 一 私たちは、愛育園の使命が子どもを自立させることであることを自覚し、この尊い仕事に、責任感、使命感、情熱をもって尽くします。

初代園長は次のように書いています。

施設は、愛の花園である。

憐れ(あわれ)な児童のために施設があるのではない。

施設があることによって、すべての児童が守られているのである。

国家は児童の父であり、社会は児童の母であり、施設は児童の家庭である。

児童はすべて、み仏の子である。

円福寺愛育園は、家庭に勝る養育の場です。

「夢」を意識させ、集団の力を生かした行事で子どもの心を満たし、高い質の規律ある生活環境と学習環境で自立の力をつけられる施設こそ「愛の花園」です。それは、保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上保護を要する児童が自立し、幸せな人生を送ることにつながります。

2. 円福寺愛育園養育の根底

子どもの心を育てる

円福寺愛育園は、子どもの心を育てます。

心が変われば行動が変わる

行動が変われば習慣が変わる

習慣が変われば人格が変わる

人格が変われば運命が変わる (初めての道徳教科書 104p)

子どもの心を育て、心を立派にすることが養育の根底です。それは、子どもの運命を変えることにつながるでしょう。

- 一 私たちは、発達段階に応じたすべての関わりが子どもの運命につながっていることを自覚し、言われたことはもとより、進んでやるべきことを考え、すぐに、必ず、できるまでやります。

3. 円福寺愛育園養育の基礎

生活環境の整美 整理整頓

子どもたちにとっての美しい整った環境は養育の基礎です。生活環境の整美、整理整頓の質を高めます。

愛育園は安心して暮らせる安全な場

愛育園が、力のピラミッドが無く、子どもたち誰もが安心して暮らせる安全な場であることは、基本三則を実現させる基礎です。

- 一 私たちは、子どもの安心安全な生活を壊すものが力のピラミッドと死角であることを自覚し、些細な気配も見逃さずつぶします。

4. 円福寺愛育園の養育の基本三則

1. 「夢」を意識させ、生活に目的を持たせる。
2. 日課の意義を理解し、自ら日課の質を上げる。規則正しく手作りの食事を提供する。
3. すべての行事に全力で取り組ませ、最高のレベルを発揮する。

5. 職員の姿勢

園是

「一切衆生皆是吾子」

(自分の子と同じように、園の子を愛せ)

- 一 円福寺愛育園は仏陀の大慈悲心とその教法に基づく人間愛の願行である。
- 一 円福寺愛育園は時代社会のニーズに応じて観音菩薩の如く応現する。
- 一 円福寺愛育園はすべての児童を守る社会連帯責任の福祉施設である。

大慈悲心を根底として、職員の勤務の心の基本三則を次のように定めます。

1. この仕事が心の仕事であることを自覚します。心を磨き心のレベルを高めます。
2. 子どものための仕事であることを、強く意識します。
3. 子どものために「我」を捨てて、園の方針に心を揃えて養育しましょう。

- 一 私たちは対話の重要性を自覚し、互いにそして子どもたちと対話に努め、養育を深めます。
- 一 私たちは、階層がある組織で子どもを育てていることを自覚し、報連相と二重三重の指導で子どもを育てます。

重点事業

1. 児童の安全確保、権利擁護、施設内虐待未然防止
地域住民、警察、ボランティア、関係団体と協力して児童の安全確保に努めます。
また、児童が一人の人間として、その尊厳にふさわしい養育・児童の状態に応じた支援を行い、万が一にも施設内に置いて虐待が生じることがないように、日々の養育に当たり虐待の未然防止に取り組みます。
2. 児童の発達に応じた養育の推進
児童の発達段階や個性に応じた養育を、日常的なかかわり等の中で行うとともに、性的問題行動や非社会的行動の未然防止及び発生後のケア等に努めます。
3. 児童の心理療法の充実
虐待等による心理的外傷のための心理療法を必要とする児童の増加に鑑み、心理療法を充実させ、児童の安心感・安全化の再形成及び人間関係の修正等を図り、もって児童の自立を支援します。
4. 学力向上
学力向上は自立の力になります。プロ学習指導者を導入して、児童個々の学習指導を充実させます。また、目標を持たせて学習する心を育みます。そして、漢字検定等の資格取得を積極的に進めます。
5. 地域貢献
児童福祉センターと施設とで力を合わせて、児童福祉の基幹センターとして地域貢献します。施設の子は地域の子どもたちと共に、児童福祉センターを利用したさまざまな行事に参加して交流を深めます。
6. 家庭復帰の促進・家庭支援の充実
入所児童、保護者、児童相談所等関係機関と連携し、家庭支援専門相談員を中心に、入所児童の早期家庭復帰を図るとともに、家庭復帰後の児童の健やかな育ちを支援するため、保護者指導を含め家庭支援の充実を図ります。
7. 職員の資質向上・チームケア体制の実践確立
職員個人個人の自己成長・自己実現ができるように、自己啓発支援を行い、キャリアコンサルティング等の職員研修を重視し職員の資質向上を図ります。職員組織の養育の一貫性や継続性・客観性を確保するため、職種・職員間の信頼感に基づく強力なチームケアを行っていきます。
8. 里親委託の推進
里親支援専門相談員を配置し、児童相談所、市町村、里親会等関係機関と連携して、里親制度の普及及び里親委託の推進を図ります。

養育

1. 児童養育の基本
心が変われば行動が変わる
行動が変われば習慣が変わる

習慣が変われば人格が変わる

人格が変われば運命が変わる

2. 生活指導

基本的な生活習慣が確立するよう、児童の発達に合わせ「師弟同行」のもとに個別指導を行うとともに自治会等の活動を支援して、行事等の自主活動の活性化を図り、共助、共育の生活をします。

問題行動をチャンスととらえ、直ちに対応し、素早い解決を目指します。

3. 学習指導

学習習慣を確立して基礎学力の向上を図ります。学習遅滞児や特別支援学級児に対して、きめ細かな指導を行います。

プロ家庭教師の会を導入し、学習指導専門員を配置して、児童の学習にきめ細かに対処します。

4. 自立の支援

「夢」を意識させ、生活に目的を持たせます。アルバイトを積極的に支援して、自立のための資金を作ります。奨学金申込み、就職先等の決定、免許取得、アパートの決定、アパート生活の助言などきめ細かに支援します。

5. 退所後指導

退所後も必要に応じて訪問・面接等を行い、生活や悩み事等の改善ができるように支援します。

また、退所後自立した児童にとって円福寺愛育園は実家的な役割を持つことに鑑み、困った時や躓いたとき等に気軽に相談できるよう、退所後の相談体制の充実を図ります。

6. 日課

日課の意義を理解し、園児が自から進んで日課に取り組み質を高めるように支援します。

7. 行事

集団生活の利点を生かします。そして、毎年行事を新しく創造するように努めます。職員と児童が協力し、全力を尽くして、その時点の園の最高を発揮するようにします。準備の過程で、挨拶、必要備品管理、食事づくり、後片付け、助け合い、おもいやり、困難に立ち向かう心等を育みます。

8. 自治、自治会

生活の中の子どもの言動や子ども同士の関係を、子ども自身で考えさせます。力のピラミッドを壊します。

9. 食育

初代園長の言葉の「調理は愛なり」で食育に当たります。心身が健全に発達し、一人一人が年齢・能力に応じた望ましい食習慣を身につけるようにします。ホーム食や行事では買い物、調理、片付けを通して、食育支援を行います。

調理員と直接養育職員は毎月検便を実施し、衛生管理を徹底し、衛生講習を実施する

等食中毒防止に努めます。様々な調査を踏まえ、楽しい食事づくりになるように努めます。

箸ピー大会を実施して、箸使いをはじめとした食事マナーを育成します。

10. 社会資源の活用

西横田育成会、少年野球、柔道教室、ピアノ教室、書道教室等に積極的に参加して児童の持っている力を伸ばします。夢を叶える支援をします。地域の児童との大会を創造します。その大会に向けて、全力で準備します。

安曇野リレーマラソン、須坂マラソン、飯綱エキサイティングスノーバトル、箸りんぴく大会等の大会に積極的に参加して、一般の方々と交流するとともに児童の力を伸ばします。

11. 円福寺愛育園の資源と施設を使った社会貢献

円福杯球技大会、箸ピー大会、愛育園祭、愛育園運動会、地藏盆を主催して地域の皆様や関係者との交流の場にします。

P T A節分、交通安全教室、少年野球、クリスマス会等に施設を開放し、地域の子どもたちと交流するとともに、地域の行事とします。

12. 篠ノ井地区や西横田行事への参加

篠ノ井中央地区運動会、虫送り、どんど焼き、区民運動会、文化祭等に積極的に参加し、地域に貢献するとともに、地域の皆様と交流します。

13. 西横田区民との交流

積極的にあいさつを交わし、諸行事に進んで参加して顔の見える交流に努めます。区民の皆様も温かく支援してくださっています。

14. 小学校、中学校との懇談

年に一度の懇談会を主催して、学校との連携を密にします。先生方に、生活の場を見てもらい理解を深めます。食事を一緒にしてもらって、子どもたちと交流するとともに、子どもたちの心を満たします。

15. 施設内虐待はさせない。行わない。

年度当初に自筆による「誓い」を提出します。職員相互で児童に対する不適切なかわりを防止します。ホーム長は児童虐待防止係となり、職員の養育の責任者となるとともに、子どもたちの様子にアンテナを張って、力による指導や不適切な指導は小さな芽のうちに摘みます。威圧、強要、暴力、差別で子どもを指導しません。児童間で威圧、強要、暴力、差別等をさせません。力のピラミッドは、小さな芽を見逃さずにつぶします。

16. 環境美化、整理整頓

環境美化は子ども達の心を美しくする基本です。常に環境美化と整理整頓に心がけます。児童と同行で清掃に取り組みます。

17. 防火・防犯・防災

毎月避難訓練を実施して、いざという時の素早く安全な避難につなげます。

地域の避難施設として、年に一度は地域と連携して、避難訓練を行います。

18. 地域活動への参加・奉仕活動

虫送り、地藏盆、お花まつり、お涅槃会、球技大会、運動会、しめ縄づくりなど、地域の大人や子どもたちと一緒にの行事に参加します。

長栄会（西横田地区高齢者の集い）や老人ホームの訪問をして、喜んでいただくことの喜びを体験します。

19. 開かれた施設

月刊「おもいやり」を発行し、家庭をはじめとした関係者に配布し、園の活動を知らせます。保護者へは担当が子どもの様子を書いた手紙を添えて、「おもいやり」を届けます。

研修や見学は、規定に沿って積極的に受け入れます。

ホームページを充実させて、事業を公開します。

20. 苦情解決の充実

第三者委員と連携して、苦情は小さなうちに解決します。卒園後の生活についてアドバイスしてもらいます。行事に参加していただき子どもたちと交流していただきます。

平成 29 年度行事

1. 園内行事、地域との交流行事、ボランティア団体

	園内行事	地域との交流行事	外部団体主催行事
毎月	避難訓練 誕生日会 誕生日外食 学習教室	少年野球	
4月	始業式 新任式	少年野球発足式 野球卓球チーム発足	
5月	GW行事 創立記念行事 母の日 復興のひまわり種蒔 よもぎ団子づくり	花御堂づくり お花まつり (釈尊降誕会) 中学校との懇談会	牛に引かれて善光寺ウォーキング 松本平 5 時間リレーマラソン
6月	乗馬体験バーベキュー 父の日	小学校との懇談会	焼肉招待
7月	キャンプ準備 七夕祭り	円福杯野球、卓球大会	
8月	キャンプ ワッサー狩り 愛育園運動会準備	虫送り 地藏盆 防災訓練	アルプスピアホーム交流会
9月	愛育園運動会 愛育園祭準備	敬老の日行事	

10月	愛育園祭	中央公民館運動会 P T A遠足 区民球技大会 文化祭	安曇野リレーマラソン 須坂マラソン
11月	七五三 ディズニーランド・東京 研修	茶臼山植栽ボランティア	
12月	初代園長ご命日 箸ピー練習 クリスマス行事 お餅つき	しめ縄づくり クリスマス会	
1月	大黒天祭 箸ピー大会	しめ縄集め どんど焼き 箸ピー大会	雪合戦大会（飯綱エキサイ ティングスノーバトル）
2月	スキー合宿	節分会 茶話会	箸りんぴっく大会
3月	お涅槃会 お別れ夕食会 卒園式	歓送迎会 少年野球卒団式	日本雪合戦選手権大会

2. その他行事

ホーム行事 ホーム食 ステーキ食等

調理行事 誕生日メニュー、誕生日外食、七夕メニュー、正月メニュー等